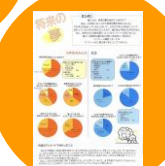
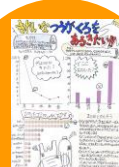
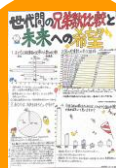
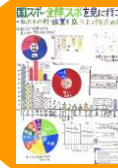




令和6年度

統計グラフ佐賀県コンクール

入賞作品集



はじめに

佐賀県及び佐賀県統計協会では、統計知識の普及と統計の表現技術の研さんに役立てるため、毎年、統計グラフ佐賀県コンクールを実施しています。

今年度は、全6部門に323点の応募があり、特選6点、入選22点、佳作50点、特別賞として佐賀新聞社賞、サガテレビ賞を1点ずつ決定しました。

さらに、学校をあげて統計教育に取り組み、作品を多数出品するとともに、統計知識の普及に貢献された佐賀大学教育学部附属小学校、早稲田佐賀中学校の2校を学校賞に決定しました。

また、入賞作品の中から特に優秀な19点を統計グラフ全国コンクールに出品したところ、2点が入選に、5点が佳作に入賞しました。

★令和6年度 統計グラフ佐賀県コンクール応募状況★

応募部門	応募作品数	応募者数
第1部（小学1・2年生の作品）	27	27
第2部（小学3・4年生の作品）	35	38
第3部（小学5・6年生の作品）	30	32
第4部（中学生の作品）	153	188
第5部（小中学生のパソコン統計グラフの作品）	73	83
第6部（高校生以上の作品）	5	5
合 計	323	373

【主催・後援・協賛】

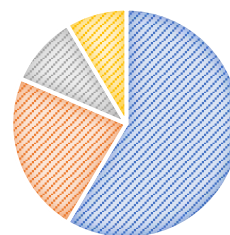
主催：佐賀県、佐賀県統計協会

後援：佐賀県教育委員会、株式会社佐賀新聞社、サガテレビ

協賛：江崎グリコ株式会社

【審査員】

牛丸 和人 氏（西九州大学短期大学部 教授） 外11名



●総評（審査にあたって）

今回から「小中学生パソコンの部」が新設され、本年度の作品応募総数は323点でした。第二次審査は6名の審査員で行いましたが、今年は中学・高校生のパソコン作品にも見ごたえのある作品が増えてきました。審査では各審査員の評価点の合計で順位を決めていきますが甲乙つけがたい作品の場合は協議の上で決定しました。

さて、教育の現場では小学校からプログラミング教育がスタートしました。また、データサイエンス、STEAM教育という言葉も耳にするようになりました。データを活用して課題解決に役立てるスキルを、小さい頃から楽しみながら身につけさせる教育が始まったのです。これはまさに「統計グラフコンクール」が長年目標にしてきたことでもあります。

（１）自分の興味があることや問題だと感じたことの中からテーマを絞る（２）データを収集し分析する（３）結果を可視化（グラフ化）し公表する・・・このような制作の流れは大学でのデータサイエンスの授業にも生かされ、職業にも発展していくのです。

今後も多くの皆さんが統計グラフコンクールを舞台に、収集したデータを視覚的に魅力的に、かつ理解しやすい形で伝えることを楽しんでくれることを願っています。

西九州大学短期大学部 教授 牛丸 和人

【表彰式】

日時：令和6年11月18日（月曜日）

場所：佐賀県庁 旧館4階 正庁

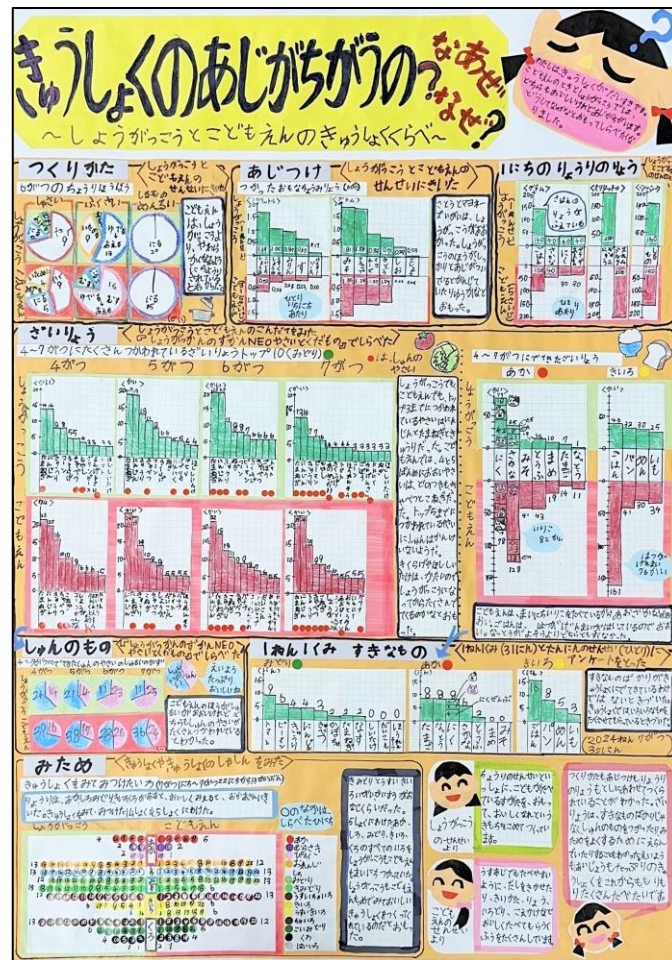
【入賞作品展示】

日時：令和6年11月14日（木曜日）～15日（金曜日）

令和6年11月18日（月曜日）～22日（金曜日）

場所：佐賀県庁 新館1階 県民ホール





芦刈観瀾校 1年

塘 真咲

【講評】

多くの子どもたちが当たり前のように食べている給食がテーマの作品です。

アレルギーのある人への配慮は必要ですが、中には自分の好き嫌いで給食を残す人もいます。塘さんは小学校や子ども園で給食を作ってくれている人たちの立場でいろいろなことを調べてくれています。

集めたデータからは子どもたちの年齢に合わせた量や味つけを工夫したり、季節の旬の食材を使ったりするなど、給食を作ってくれている人たちの愛情が伝わってきます。

【受賞者の声】

入しょうして、むねがジーンとしました。じまんのあじかきのきゅうしょくをしてもらえて、うれしいです。

こどもえんと小学校、どちらもおいしいきゅうしょくだけれど、あじがちがうことがふしぎだったので、このテーマを選びました。

ねんれいにあわせて、あじつけやつくりかた、ざいりょうなどをかえて、くふうしていることがわかりました。

たくさんのぎもんをまとめるのはたいへんでした。グラフにするとくらべやすく、ぎもんがかいけつしました。

第2部（小学3・4年生の作品）



東原彦倉東部校 4年

瀬山 創元

【講評】

今や子どもも大人もゲーム機やスマホでゲームを楽しむ時代になりました。

しかし、ゲーム依存による脳への悪影響が心配されていることも事実です。瀬山さんはそこに注目して1年生から6年生、そして保護者の皆さんからゲームに関するデータを集めました。その中でゲーム依存の問題が実は子どもだけではなく、大人が一緒になって考え対応していくべきものだ気づいたのです。

その強い思いがこのインパクトのある題字にもよく表れています。

【受賞者の声】

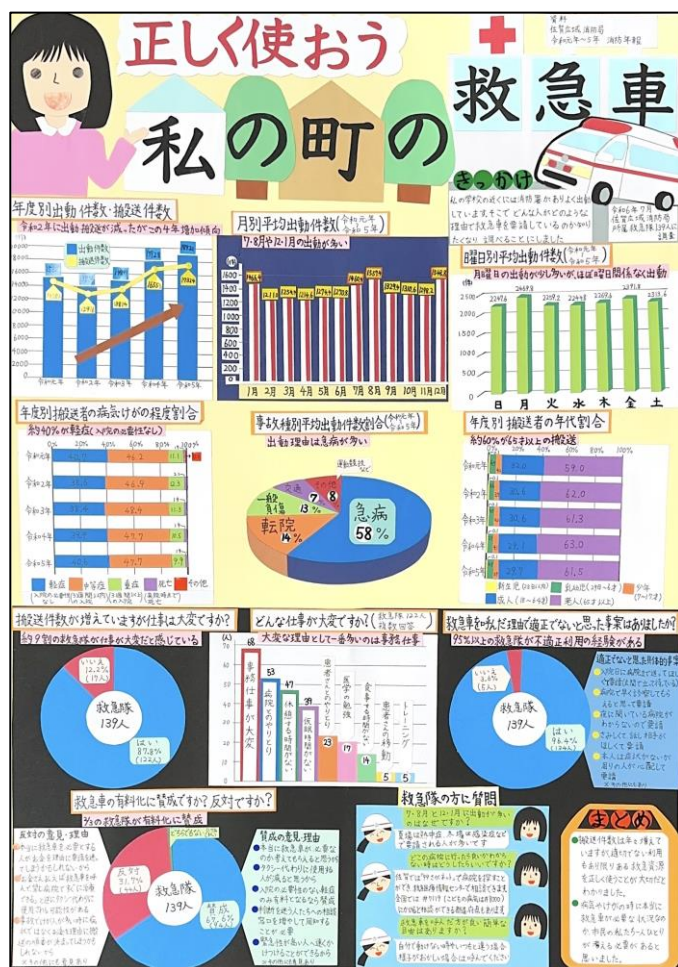
夏休みが終わる2日前まですごく頑張って作ったので、すごく嬉しいです。1年生から6年生がアンケートにこたえてくれたので、感謝しています。

大人を納得させるルールを作りたくて、納得を攻略という言葉にかえて、このテーマにしました。

このテーマを調べてみて、大人も意外とゲームが好きなの分かりました。大人は、子どもに絶対にゲームをさせたくないわけではないことも分かりました。

作る時にゲームっぽくするのが難しかったです。アンケートに協力してくれた人達のおかげで受賞できました。ありがとうございました。

第3部（小学5・6年生の作品）



牛津小学校 5年

岡田 愛未

【講評】

もしもの時に頼りになる救急車ですが、その不適切利用が問題になっています。特に緊急性もないのに呼んだり、中には病院へのタクシー代わりのように使ったりする人がいるようです。

岡田さんはこのような問題について救急隊員の皆さんに協力いただいて現状を把握し、解決策について提言しています。

有意義なテーマに加え、グラフの使い方、イラストや画面構成の美しさや丁寧さも素晴らしい作品に仕上がりました。

【受賞者の声】

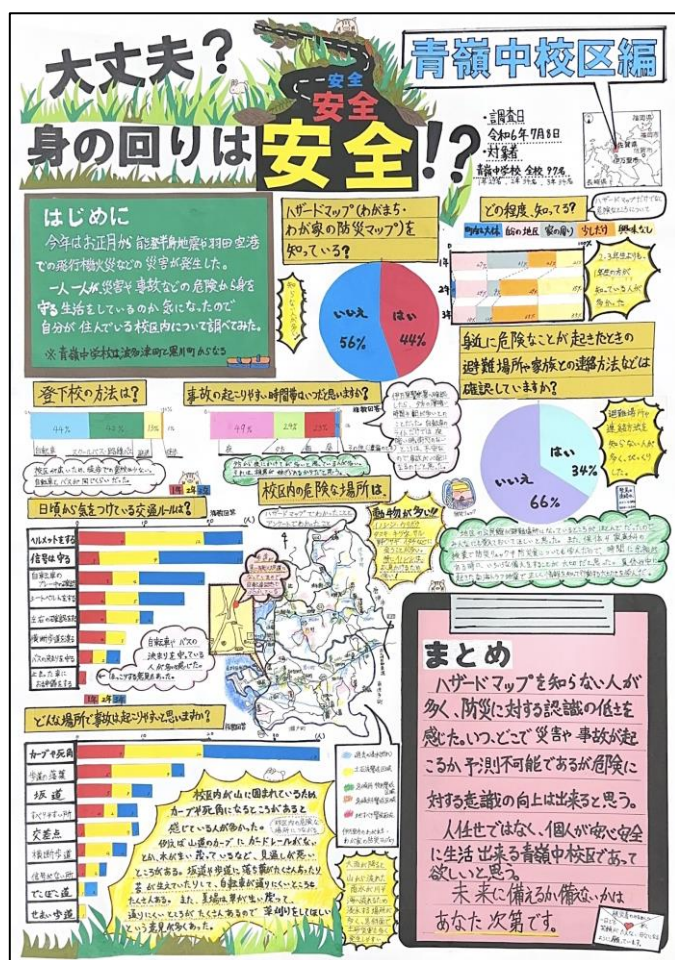
3回目の挑戦で初めて特選に選ばれて、とても嬉しいです。

私の学校の近くに消防署があり、よくサイレンを聞きます。将来の夢がお医者さんで救急車に興味があったので、このテーマを選びました。

救急車を不適正利用している事案があることを知って、とてもびっくりしました。

消防年報の結果をまとめることや、伝えたいことをどうやってグラフで表すか考えることが苦勞しました。

第4部（中学生の作品）



青嶺中学校 3年

池田 心夢



サガテレビ賞

【受賞者の声】

入賞すると思ってなかったです。

自分たちで守ることができる交通安全と自然災害が最近特に多いと感じたので、何か関係するところがあるかもしれないと思い、先生と相談してこのテーマを選びました。

このテーマを調べてみて、ハザードマップを知っている人が少なかったことや、防災への意識が低いこと、道路環境が悪いことが分かりました。

アンケートが期間内にあつまず、集計に苦労しました。また、見やすさや色づかい、色のバランスなどの見た目に気をつけました。

【講評】

身の回りの安全について興味関心を持ち、池田さん自らが住んでいる校区のことを詳しく調査していることに感心しました。また、校区の地図に危険箇所を色で示しつつ、アンケート結果をグラフでわかりやすく表現し、絵や吹き出し等も使って、レイアウトにも工夫を凝らした作品でした。

全校生徒の皆さんや地域住民の方など、校区の安全意識の高まりにもつながる作品になっていますので、ぜひ多くの方に作品を見てもらってください。

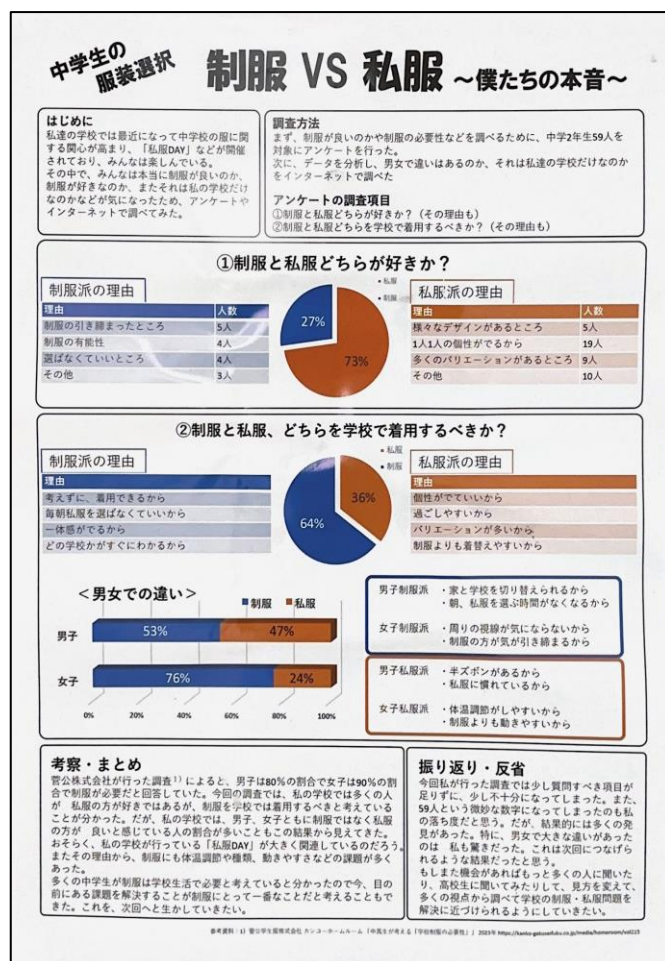
【特別賞講評】

頻発する災害や事故から問題意識を持ち、身近な地域の危険な場所や事故の起きやすいところを丁寧にアンケートから数値化し、表現できています。

問題意識をデータから導かれた数値をもとに、見ている方に伝わりやすく工夫しているところが感じられました。

全体として、データの収集と分析、視覚的表現において高いレベルにあり、地域社会に対する貢献の意識が感じられる作品でした。

第5部（小中学生のパソコン統計グラフの作品）



佐賀大学教育学部附属中学校 2年

塚本 正悠

【講 評】

制服着用について、同級生に調査をした結果、男女の結果の違いについて明らかになりましたね。塚本さんが振り返っているように、質問項目や回答の選択肢をもう少し増やして、他学年や他校に調査をすると、違った結果になったかもしれません。

制服を着る立場の中学生が自ら、制服の必要性を考えるということが大切なことだと思いますので、調査結果をもとに、みんなで話し合ったり、何か提言したりするなど、主体的な行動につなげてほしいと思います。

【受賞者の声】

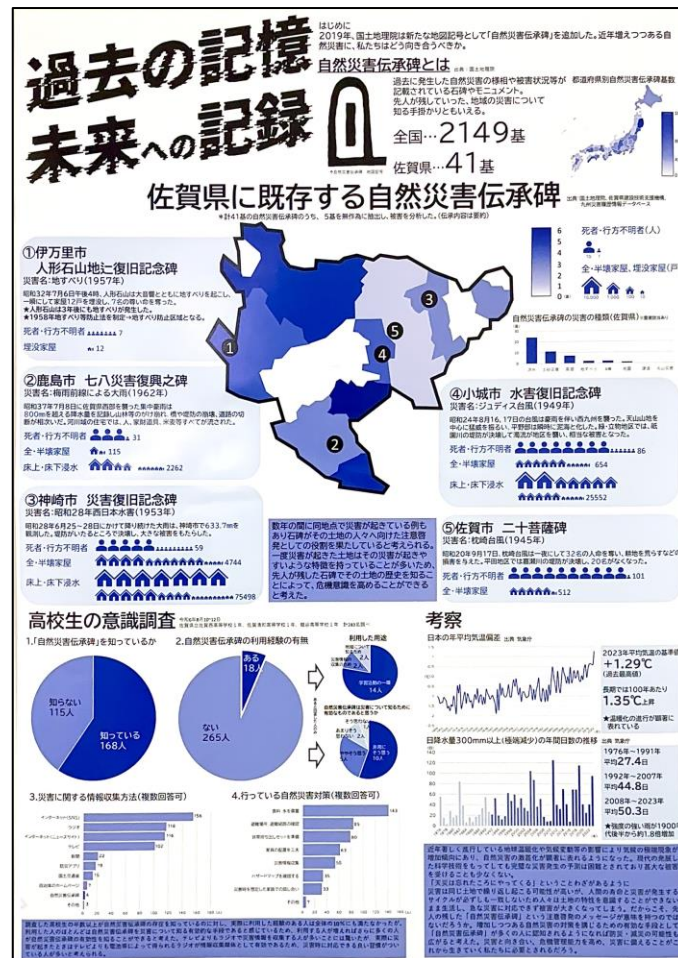
初めてパソコン統計に挑戦し、特選だったので、とても嬉しいです。今年こそは入選以上に選ばれたいという思いで頑張り、特選に選ばれたので驚きました。

このテーマを選んだきっかけは、私の学校の私服 DAY でした。制服を私服に変えようとする動きが高まるなかで、本当に中学生は私服がいいのかという考えが浮かび、このテーマに決定しました。

調べてみて、制服派が多いという発見がありました。私としても制服の方がよいという意見ですが、私服派の意見もよいなと思いました。

パワーポイントの操作は、紙にはない難しさが分かり、とても苦労しましたが、満足のいく結果になりました。

第6部（高校生以上の作品）



佐賀西高等学校 1年

田口 夢彩

【講評】

西日本豪雨災害をきっかけに、新たに制定された地図記号「自然災害伝承碑」。田口さんが「自然災害伝承碑」について興味・関心を持ち、県内の自然災害伝承碑について調査し、統計グラフの作品制作に取り組んだことに感心しました。また、ブルー基調で配列にも工夫した作品でした。

過去からのメッセージを教訓として、地域の防災や自らの身を守る行動に生かしていかなければならないと思いました。この作品制作をきっかけに、「自然災害伝承碑」を活用した災害対策等について考えてみるのもよいですね。

【受賞者の声】

多くの人にポスターを見ていただける機会をいただきとてもうれしかったですし、1年ぶりの特選ということもありほっとしています。

新しい防災や減災への取り組みとして自然災害伝承碑について知ってほしいと思い、このテーマを選びました。

伝承碑があることで同じ地で再び発生した災害の被害を抑えたという実例があることに驚きました。また、伝承碑の存在は知っているものの存在意義を知らない高校生が一定数いて、浸透していない現状がわかりました。

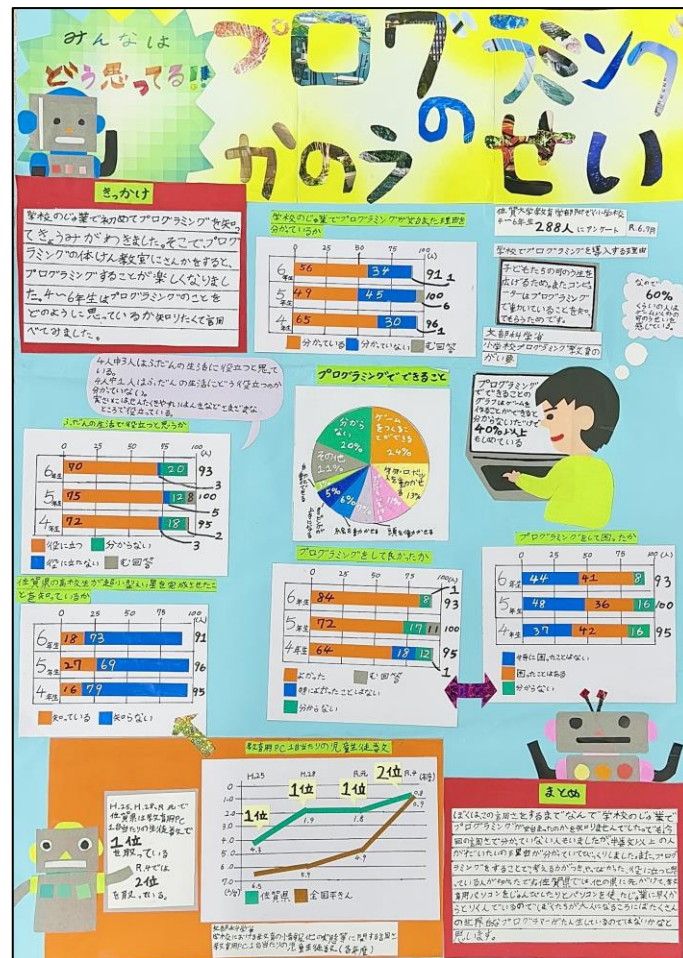
毎年ポスターを制作しているとデザインの傾向が似てしまうため、今年は一味違ったデザインにしようと頑張りました。いい意味で私らしさが抜けたと思います。

特別賞

佐賀新聞社賞

第2部

佳作



佐賀大学教育学部附属小学校 4年

吉村 聡佑

【特別賞講評】

学校でプログラミングを学ぶことが増えてきましたね。

吉村さんの作品では、アンケートを基に良くまとめられています。「プログラミングをして困ったことはある」の回答も多い点に着目するとこれからどうやっていくと理解が深まるかのヒントもありそうですね。

生活に関わるあらゆるものもプログラミングにより動くように設計されていますので、「プログラミングでみんなの未来を作っていく」そんな思いでこれからもプログラミングに取り組まれていくことを期待します。

みなさんの可能性も無限大です。

【受賞者の声】

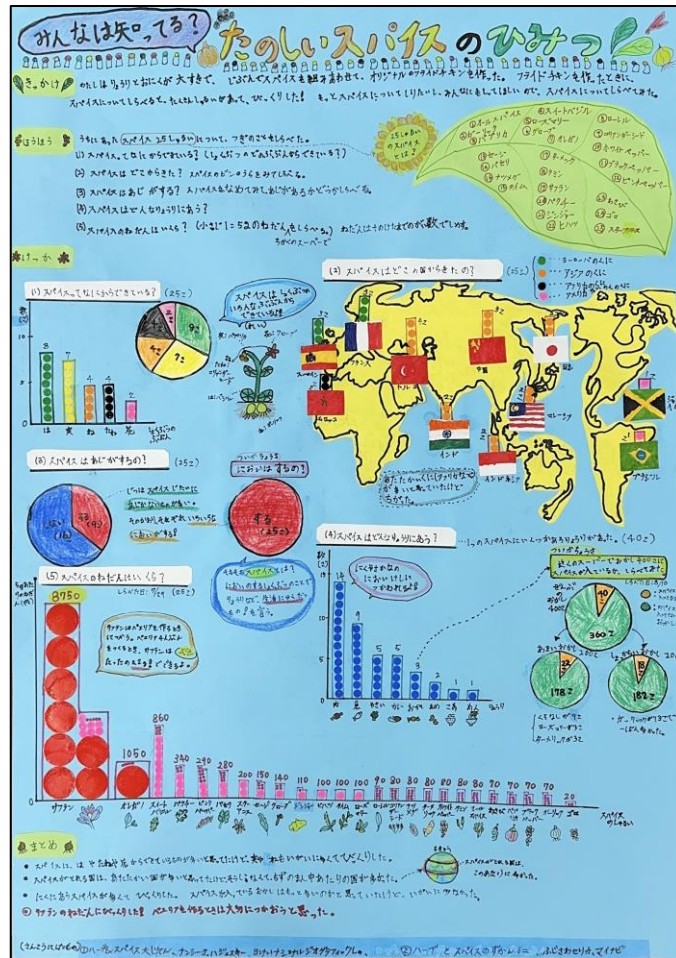
入賞するとは思わなかったので、すごくおどろいています。

学校の授業でプログラミングをした時にすごく楽しくて、これが自分たちの生活にどう生かせるのか知りたくて、このテーマを選びました。

このテーマを調べてみて、佐賀県は他の県に先がけて教育用パソコンをじゅんびしていたことにおどろきました。

アンケートを集けいする時に、すごくいろいろな意見が書いてあるので、まとめることがむずかしかったです。

第1部



佐賀大学教育学部附属小学校 2年

山下 桜奈

【受賞者の声】

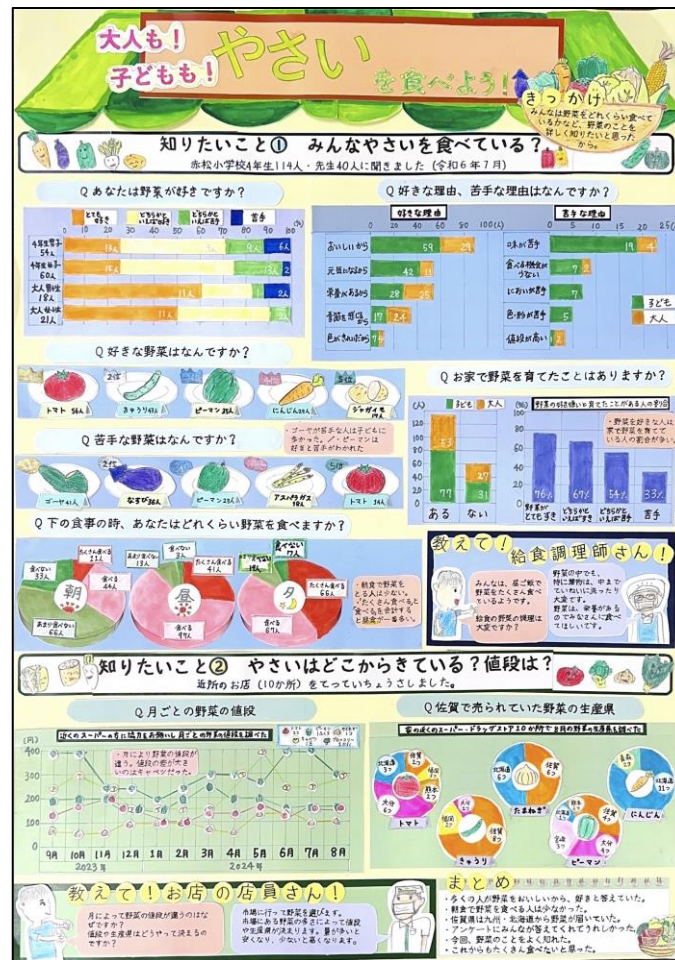
全国佳作に選ばれてとてもうれしいです。

理科の自由研究でフライドチキンの研究をして、スパイスについてもっと知りたいと思い、このテーマを選びました。

スパイスがとれる国は、あたたかい国が多いと思っていたけど、調べてみると、ちきゅうのまん中あたりの国に多いことが分かりました。

グラフと、絵や地図を組み合わせ、分かりやすくまとめるところを工夫しました。

第2部



赤松小学校 4年

荒木 晶太

【受賞者の声】

全国佳作に選ばれてとてもうれしいです。がんばったかいがあると思いました。アンケートに協力してくれた人に感謝しています。

僕は野菜が好きですが、そうでない人もいます。大人と子どもでちがうのかを知りたかったからこのテーマを選びました。調べてみて、野菜が好きと答えた人が多かったのですが、朝食で野菜を食べる人は少なかったことと、野菜の値段は季節によってちがい、一番差が大きかったのはキャベツだったことに気づきました。

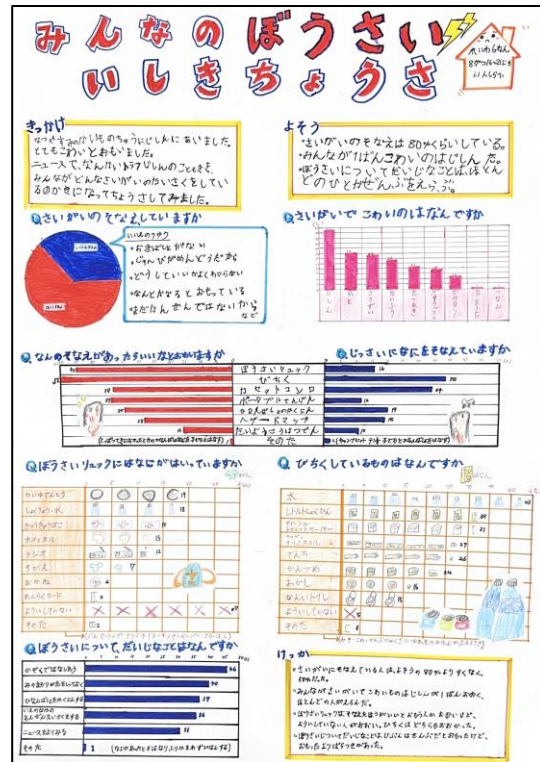
制作していて苦労したところはアンケートの結果をまとめるのが大変だったことと、お店の人や給食調理師さんにインタビューをしたことです。

入選作品(第1部)



新栄小学校 2年

金田 竜空



麓小学校 1年

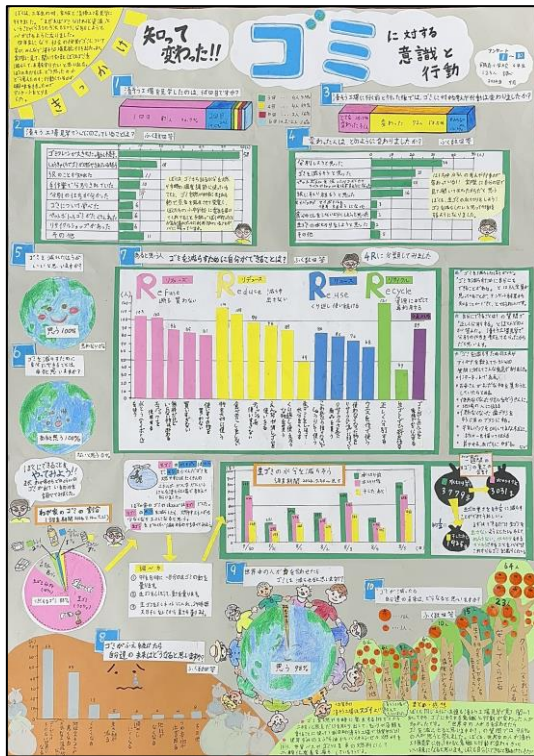
山本 咲月



牛津小学校 2年

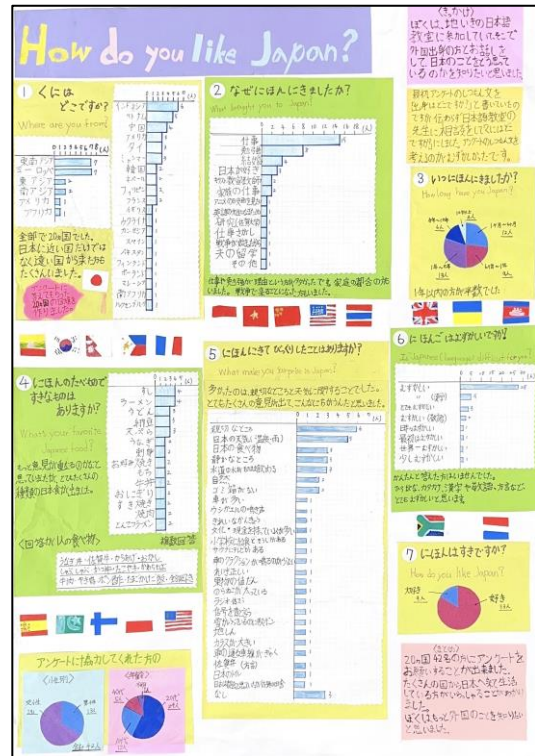
岡田 拓巳

入選作品(第2部)



鍋島小学校 4年

中溝 也晴



佐賀大学教育学部附属小学校 4年

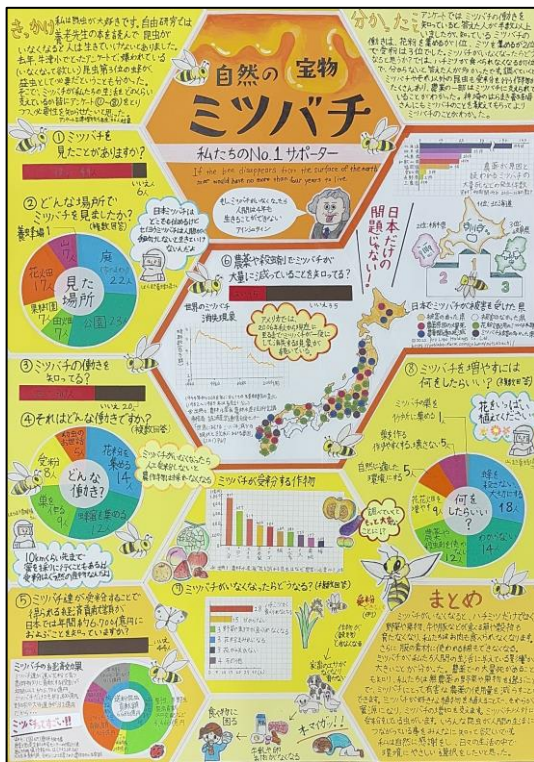
池田 新



鏡山小学校 3年

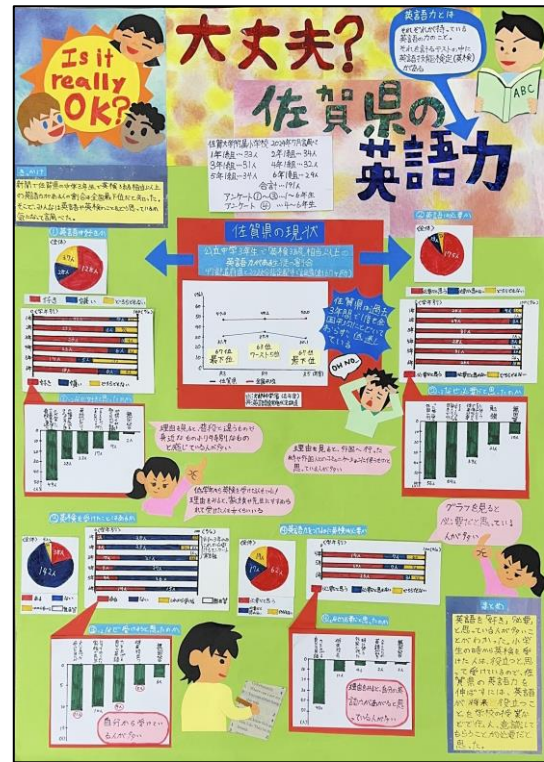
田中 柚希

入選作品(第3部)



牛津小学校 5年

西口 ちはや



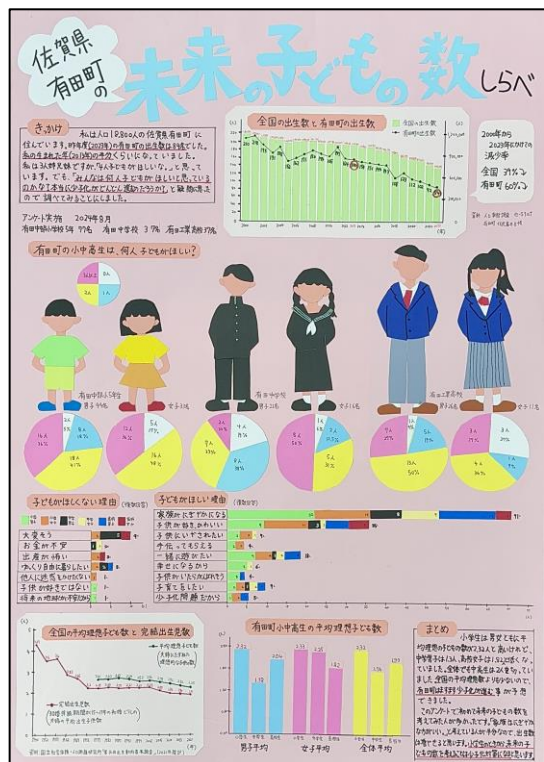
佐賀大学教育学部附属小学校 5年

吉村 彩矢



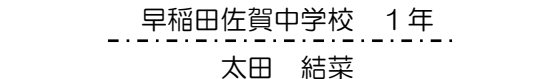
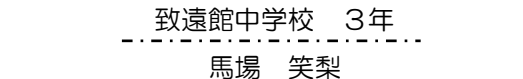
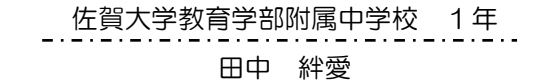
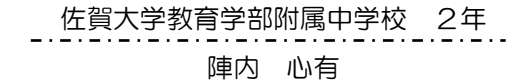
三田川小学校 6年

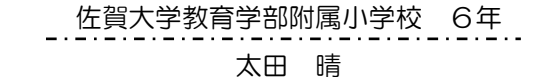
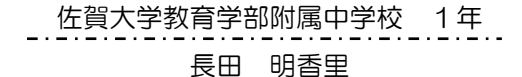
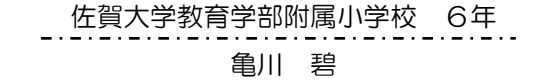
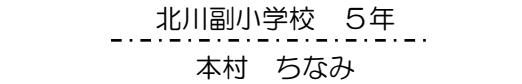
青木 かな



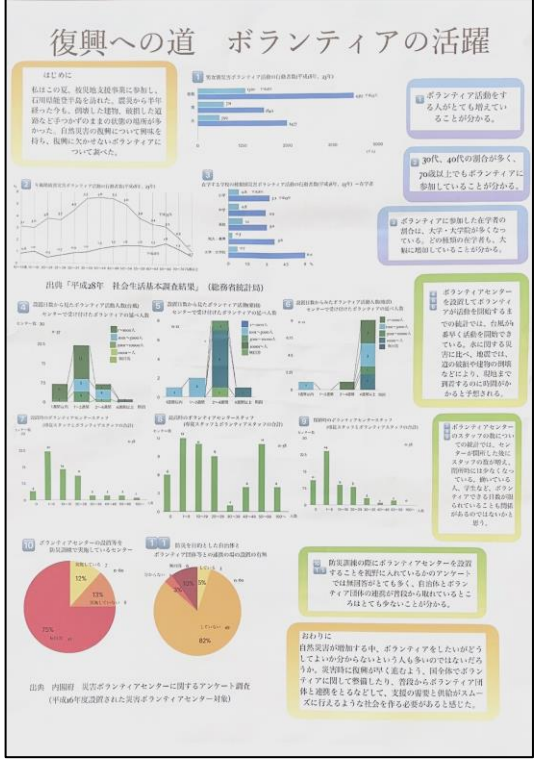
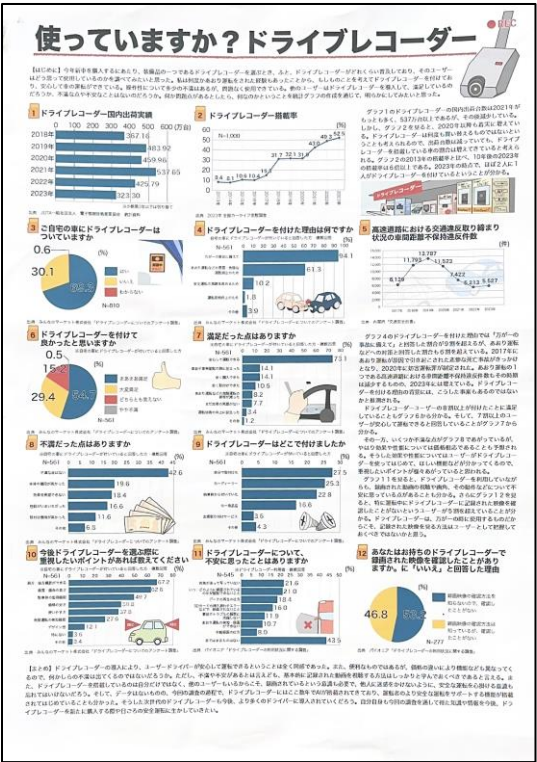
有田中部小学校 5年

岩永 倫香





入 選 作 品 (第6部)



一般
中村 純一

龍谷高等学校 1年
豊増 恒生

佳作 入賞者一覧

（第1部）

佐賀大学教育学部附属小学校	2 年 鶴田 美月
佐賀大学教育学部附属小学校	2 年 出雲 悠真
佐賀大学教育学部附属小学校	1 年 岩岡 花
佐賀大学教育学部附属小学校	1 年 大塚 夏夢
北波多小学校	2 年 福島 朱織
東原庫舎中央校	2 年 藤井 舞衣子
牛津小学校	2 年 徳永 咲与
轟小学校	2 年 山口 小百合
神埼小学校	2 年 平川 湊士
有田中部小学校	2 年 大宅 一慶

（第2部）

勸興小学校	3 年 香田 想
北川副小学校	4 年 中本 結
佐賀大学教育学部附属小学校	4 年 吉村 聡佑
新栄小学校	4 年 吉村 妃織
浜崎小学校	3 年 阿部 正宗
田代小学校	4 年 木村 亮太
御船が丘小学校	4 年 森 絢音
有田中部小学校	3 年 岩永 昌真
有田中部小学校	3 年 大宅 薫栄
曲川小学校	4 年 西澤 和美

（第3部）

川上小学校	6 年 小網 琉青
川上小学校	4 年 小網 百合菜
北川副小学校	6 年 徳永 芽衣
佐賀大学教育学部附属小学校	5 年 松枝 あかり
鍋島小学校	6 年 富崎 麻乃彩
兵庫小学校	6 年 射手矢 咲子
鏡山小学校	6 年 田中 瑞貴
鳥栖小学校	5 年 井筒 幸希
麓小学校	5 年 百田 大翔
若葉小学校	6 年 松田 桃奈
朝日小学校	5 年 石田 妃菜乃

（第4部）

早稲田佐賀中学校	2 年 影澤 かれん
佐賀大学教育学部附属中学校	3 年 森重 りの
佐賀大学教育学部附属中学校	3 年 三根 葵
佐賀大学教育学部附属中学校	2 年 徳田 華子
佐賀大学教育学部附属中学校	1 年 池田 日奈子
佐賀大学教育学部附属中学校	1 年 江口 琉那
早稲田佐賀中学校	2 年 内田 聖桜
早稲田佐賀中学校	2 年 中川 慈子
早稲田佐賀中学校	1 年 緒方 心美
早稲田佐賀中学校	1 年 宮本 風栞

（第5部）

春日北小学校	6 年 西尾 董
佐賀大学教育学部附属小学校	6 年 森重 仁貴
佐賀大学教育学部附属中学校	1 年 島田 歩
成章中学校	1 年 高津 旺二郎
高木瀬小学校	6 年 蒲原 凜音
龍谷中学校	3 年 栗田 桜雅
早稲田佐賀中学校	2 年 徳村 歩佳
早稲田佐賀中学校	2 年 水崎 啓太
早稲田佐賀中学校	2 年 錦織 瑞月
弥生が丘小学校	5 年 取井 結麻

佐賀県及び佐賀県統計協会では、次の取り組みを行っています。

【作品用紙（B2判）の無料配布】

今年7月、統計グラフ佐賀県（全国）コンクール規格用紙であるB2判用紙を、学校等を通して希望した児童・生徒に無料で配布しました。また、ゆめタウン佐賀で実施したデータフェアにおいて、希望者へB2判用紙の無料配布を行いました。

○「ゆめタウン佐賀で実施したデータフェア」（令和6年7月20日（土））の様子



【統計グラフワークショップ】

県内小・中学生を対象に、統計グラフの作成を通じて、日常生活の中で統計を利用することの有用性を知り、統計調査への理解を深めるため、毎年、「統計グラフワークショップ」を開催しています。

1 対 象

県内の小・中学生

2 内 容

統計データの収集・読み取り、グラフ作成のポイントなどの演習を実施します

3 開催日、場所

毎年6月頃、県内2ヶ所 ※今年度は終了しました

4 参加費用

無 料

※応募方法等、詳しくは県統計分析課（0952-25-7036）までお問合せください。

○今年実施しました「令和6年度統計グラフワークショップ」の内容や様子については、県統計分析課ホームページ『さが統計情報館』に掲載していますのでご覧ください。

来年度もたくさんの応募をお待ちしています！

